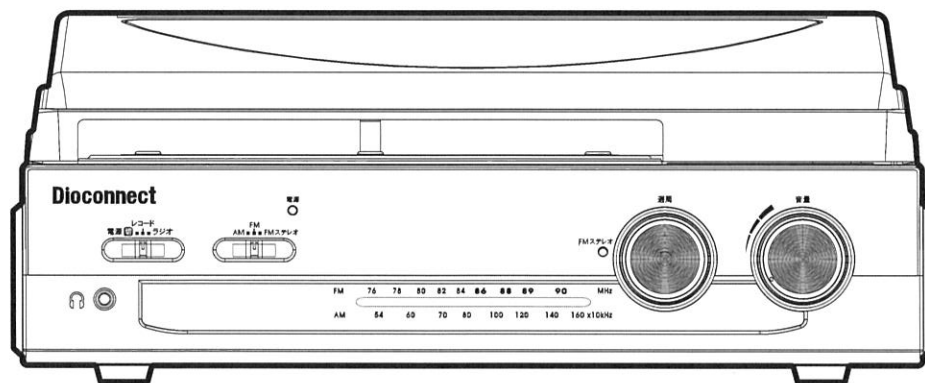


AucSale

ラジオ機能搭載レコードプレーヤー

Diococonnect DRR-PO1



取扱説明書

■ご使用前に

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

正しくご使用して頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

はじめに	2
安全上の注意	3
使用上のお願い	7
各部名称	8
・ 本体正面	8
・ 本体上面	9
・ 本体側面	9
・ 本体背面	10
音声出力の接続をする	11
レコード針カートリッジについて	12
・ レコード針カートリッジ（別売）の交換	12
ヘッドフォン/イヤフォンを接続する	13
電源コードを接続する	13
モードの切り替え/電源オフ	14
・ モードを切り替える	14
・ 電源をオフにする	14
レコードを聴く	15
・ レコードモードにする	15
・ レコードをセットする	15
・ レコードを再生する	16
ラジオを聴く	17
・ ラジオモードにする	17
・ FMラジオを聴く	17
・ AMラジオを聴く	17
トラブルシューティング	18
主な仕様	19
アフターサービスと保証書	20

お使いになる前に必ずお読みください。

はじめに

取扱説明書について

本取扱説明書は、本製品の操作方法について説明しています。

セット内容

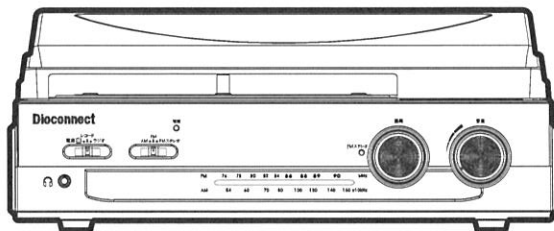
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、若干異なる場合があります。

プレーヤー本体

ダストカバー

ディスクスタビライザー



※本体装着済み

※ダストカバーは本体装着済み

取扱説明書 (本書)

保証書 (本書添付)



※本書背表紙が保証書
となります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

○ご使用前に、あなたの健康と安全を守り、火災や感電などによる事故を未然に防ぐために、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合におこりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損傷とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



禁止 (してはいけないこと) を表します。

具体的な禁止内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



指示する行為の強制 (必ずしなければならないこと) を表します。

具体的な禁止内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



注意 (警告含む) を表します。

具体的な禁止内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



警告

異常や故障したとき



電源プラグ
を抜く

- 煙が出たり、変なにおいがする場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 内部に水や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 本体を落としたり、破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが異常に熱くなった場合は、電源プラグが冷えたことを確認し、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意



警告

設置をされるとき



水濡れ禁止

- 屋外や浴室、シャワー室など、水がかかる恐れのある場所には設置をしないでください。火災や感電などの原因となります。



指示

- 電源コードは、家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 静電気の発生しやすい場所に設置して使用する場合は十分注意してください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防ぐ措置をとるか、静電気の発生しやすい場所への設置を避けてください。



禁止

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。



上乗せ禁止

- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶、コップ、化粧品などの液体が入った場合、火災や感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、ケガの原因となります。



警告

ご使用になるとき



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や調整、修理はサポートセンターにご依頼ください。



異物挿入禁止

- 本製品内部に異物を入れないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、本製品には一切触れないでください。感電の原因となります。



禁止

- 電源コードについて
 - ・傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱をしないでください。
 - ・引っ張ったり、重たいものを載せたり、挟んだりしないでください。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。これらは火災や感電の原因となります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意



警告

お手入れについて



禁止

- 電源プラグの端子や取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、電源プラグを抜いて、ゴミやホコリを取ってください。
電源プラグの絶縁低下によって、感電の原因となります。



注意

設置をされるとき



禁止

- 温度の高い場所に置かないでください。
直射日光の当たる場所やストーブのそばなどに置くと、火災や感電の原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
- 高温多湿の環境（お風呂場など）や、油煙、ホコリの多い場所に置かないでください。
本製品の故障や、感電や火災の発生するおそれがあります。
- 換気の悪い場所に設置しないでください。熱がこもり、本製品の变形や故障、火災の発生するおそれがあります。
 - ・壁に押し付けないでください。
 - ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所に押し込まないでください。
 - ・テーブルクロスやカーテンなどを掛けたりしないでください。
 - ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
 - ・仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。



指示

- 移動させる場合は、電源プラグや外部との接続コードを外してください。電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき、火災や感電などの原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒してケガの原因となることがあります。



注意

ご使用になるとき



引っ張り禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かないでください。電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災や感電などの原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



濡れ手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意



- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。



禁止

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したレコードは使用しないでください。本製品の故障の原因となります。
- レコードの回転中は、レコードに直接指で触れたりしないでください。ケガの原因となるおそれがあるほか、本製品の故障、レコードの損傷のおそれがあります。
- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。また、接続している外部機器の音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
- 本製品から異音が出た際は使用を中止してください。聴力に悪い影響を与える恐れや、本製品の故障の原因となる恐れがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて音声を聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドフォン、イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ご使用になるとき本製品やコードなどを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災や感電などの原因になることがあります。
- 本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないでください。ケガや故障の原因になります。
- 本製品に衝撃を与えないでください。ケガの原因になることがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、両手で水平に持ち上げてください。無理な体勢で取り扱っていると、落下して本製品が故障するおそれがあるほか、ケガなどの原因となるおそれがあります。



指示

- 他の電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。
- その場合は下記のように対処してください。
 - ・他の電気機器からできるだけ離してください。
 - ・テレビやラジオ機器などのアンテナの向きを変えてください。
 - ・コンセントを別々にしてください。

お使いになる前に必ずお読みください。

使用上のお願い

取り扱いに関して

- 引っ越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷がつかないように本製品の外装箱などをご使用ください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 普段使用しない時は、必ず電源を切っておいてください。
- 長時間使用しない時は、機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関して

- 本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所で使用しないでください。部品などが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオなどの機器の近くに置く場合には、本製品で再生中に、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオなどの機器から離してください。

お手入れに関して

- キャビネットや操作パネル部分などの汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露（露付き）に関して

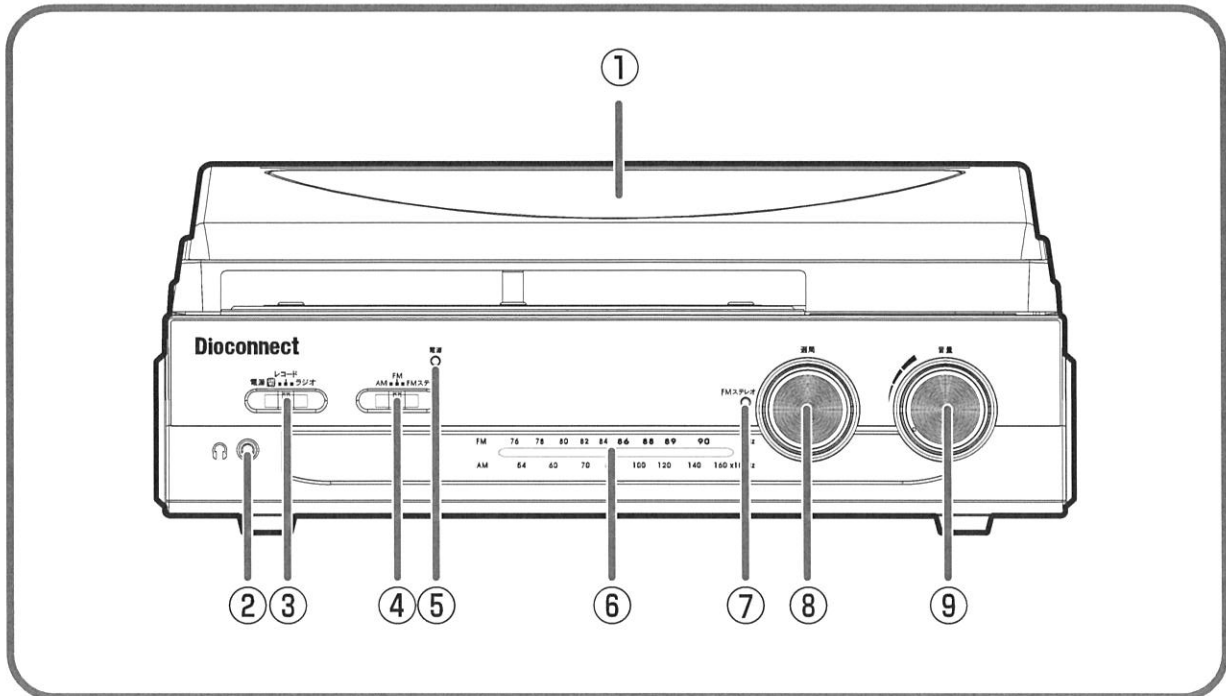
- 結露は本製品を傷めます。下記をよくお読みください。
- 結露は以下の状況などでよく生じます。
 - ・本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動した時。
 - ・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用した時。
 - ・夏季に、冷房のきいた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時。
 - ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用した時。
- ※結露が生じそうな場合は、本製品をすぐにご使用にならないでください。
- 結露が生じた状態で本製品を使用すると、レコードや部品を傷めることがあります。レコードを取り外し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと本製品が暖まるので、2～3時間程度で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくことで結露が生じにくくなります。

日本国内専用

- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧等が異なりますので使用することができません。

各部名称

本体正面



① **ダストカバー**

レコードへのほこりの付着を防ぎます。

② **ヘッドホン端子**

ヘッドフォンを使用する際にこの端子に接続します。

③ **電源/モード切り替えセレクター**

電源・切/レコードモード/ラジオモードの切り替えをします。

④ **ラジオ切り替えセレクター**

AMラジオ/FMラジオ/FM(ステレオ)ラジオの切り替えをします。

⑤ **電源ランプ**

電源をオンにするとランプが点灯します。

⑥ **選局インジケーター**

ラジオモードに切り替えるとランプが点灯します。選局の目安となります。

⑦ **FMステレオランプ**

FMステレオに切り替えるランプが点灯します。

※電波が弱い場合は点灯しない場合があります。

⑧ **選局つまみ**

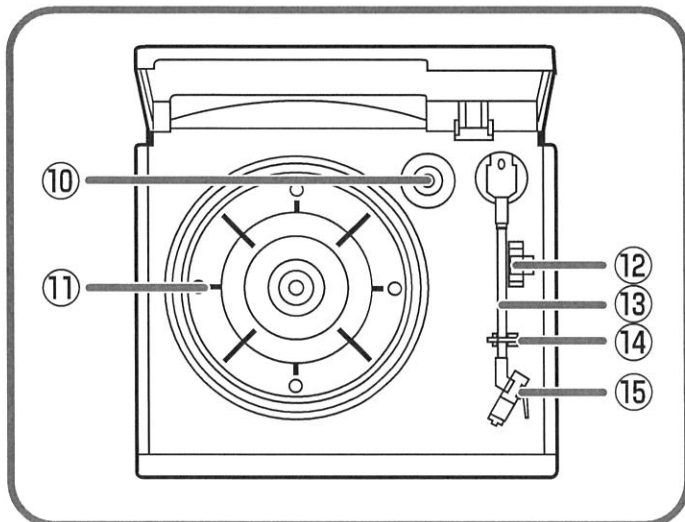
ラジオの選局をします。

⑨ **音量つまみ**

音量の調節をします。

各部名称

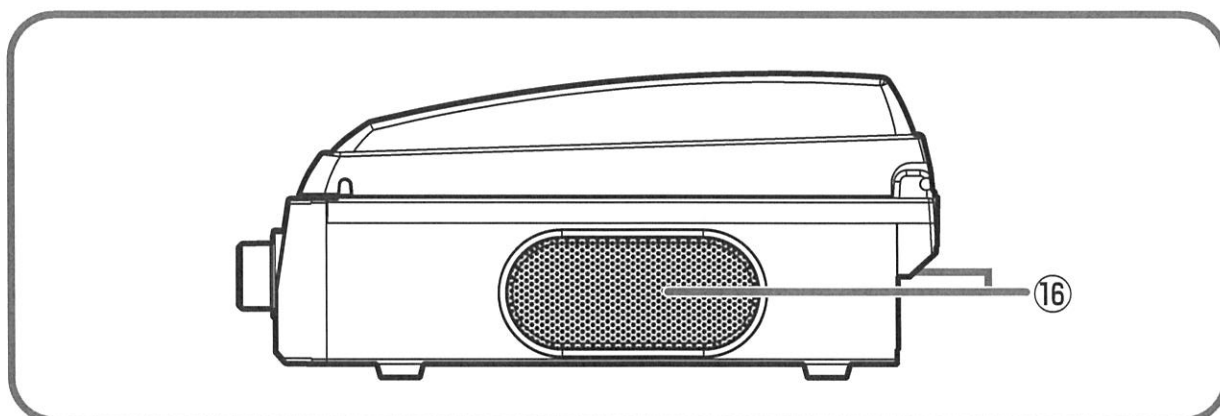
本体上面



- ⑩ ディスクスタビライザー
EP盤を再生する場合、レコードを固定するためにレコードの下にセットします。

- ⑪ ターンテーブル
レコードをセットします。
- ⑫ レコード回転数切り替えスイッチ
レコードの回転数(33/45)を切り替えます。
- ⑬ トーンアーム
トーンアームを移動させ、レコードを再生します。
- ⑭ アームレスト
トーンアームを乗せて固定します。使用時は固定フックを外します。
- ⑮ レコード針カートリッジ
レコード針を固定するカートリッジです。

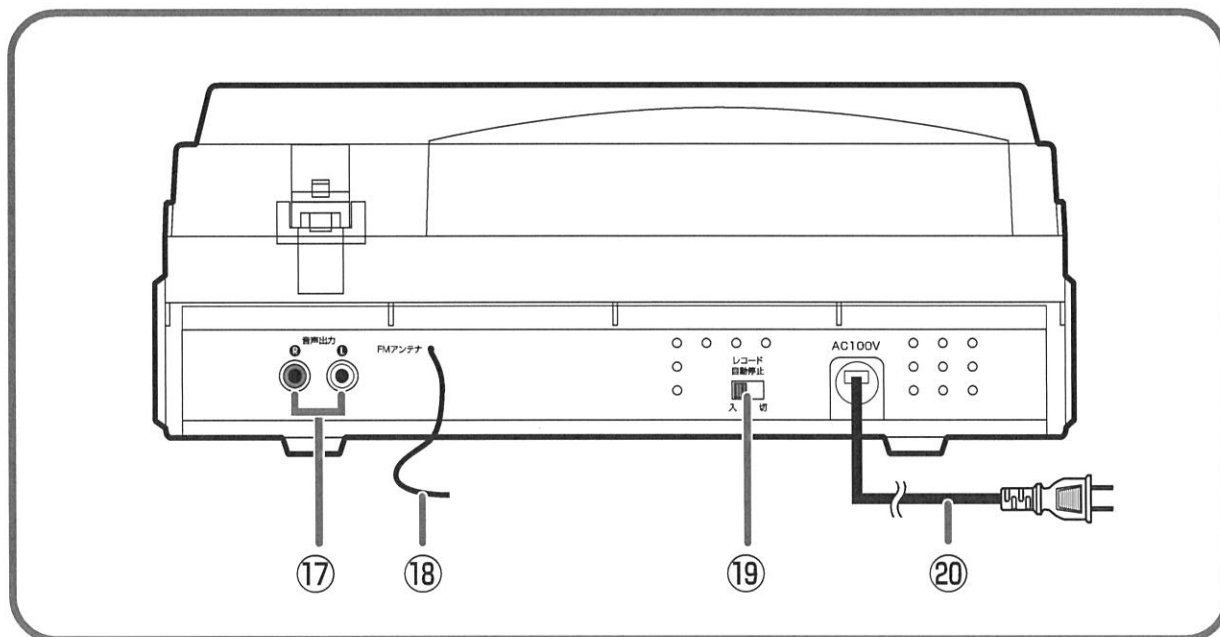
本体側面



- ⑯ スピーカー
音声を出力します。(左右両側面にあります。)

各部名称

本体背面



①⑦ 音声出力端子(左/右)

オーディオケーブル(赤/白端子)で外部機器を接続し、本製品の音声を外部機器で出力します。

①⑧ FMアンテナ

FM放送を受信するためのアンテナコードです。

①⑨ レコード自動停止スイッチ

スイッチを「入」に切り替えると、レコードの演奏が終了した後、自動的にターンテーブルが停止します。

スイッチを「切」に切り替えると、ターンテーブル自動停止機能がオフになります。

①⑩ AC電源コード

家庭用コンセントに接続します。

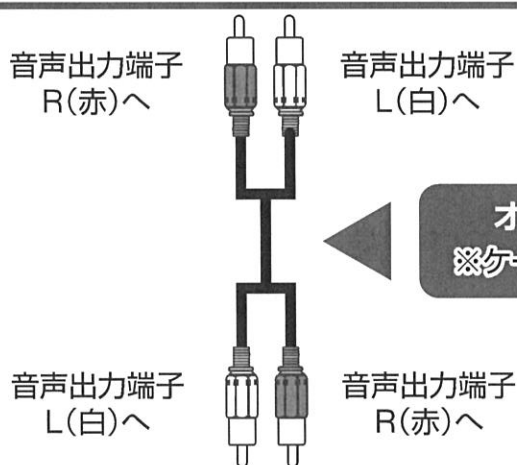
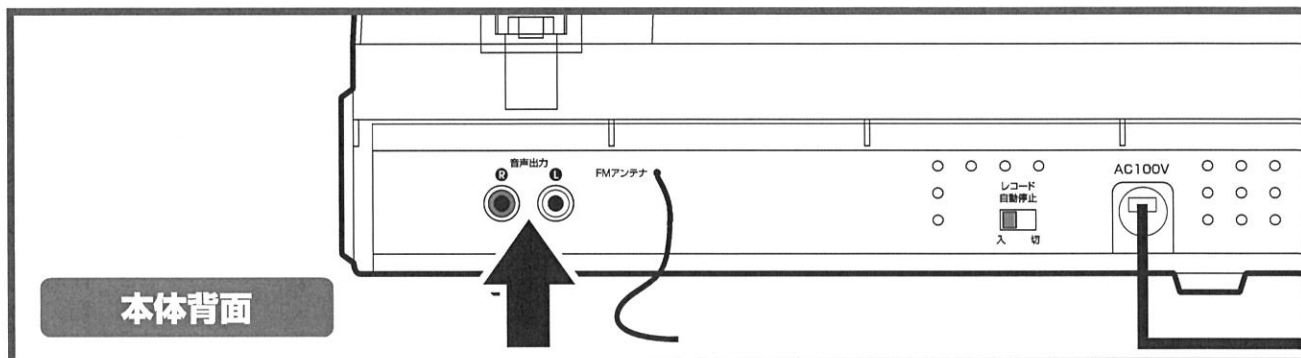
音声出力の接続をする



注意

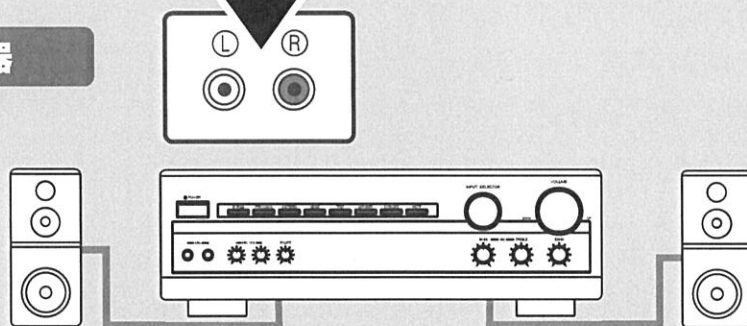
- ・接続する時は、必ず本製品及び外部機器の電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・接続前に、接続する機器の説明書もお読みください。

- 本製品の音声を外部機器から出力することができます。
図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。



オーディオケーブル(市販品)
※ケーブルは市販品をご使用下さい。

外部機器

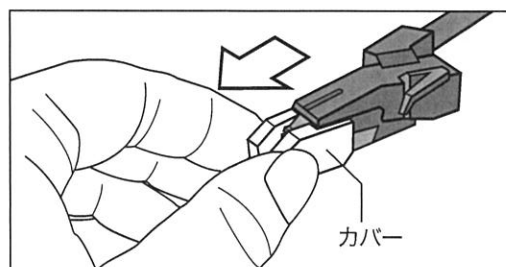


レコード針カートリッジについて

レコードをご使用の前に、カートリッジのカバーを外してください。

●右図のように矢印の方向へ水平にスライドして取り外します。

※レコード針は精密品です。乱暴に扱わず、取り扱いには十分ご注意ください。

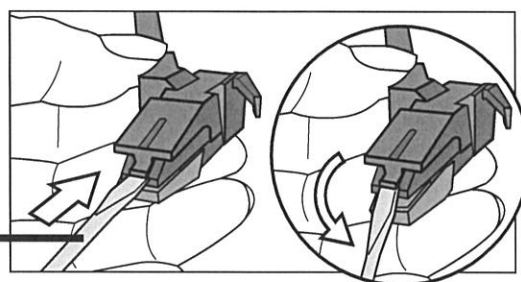


レコード針カートリッジ (別売) の交換

●別売のレコード針カートリッジの交換は下記の手順を参照してください。

- ① 取り付け部正面の中央の溝にマイナスドライバーなどを差し込み、軽く引き下げます。カートリッジの前方が外れます。

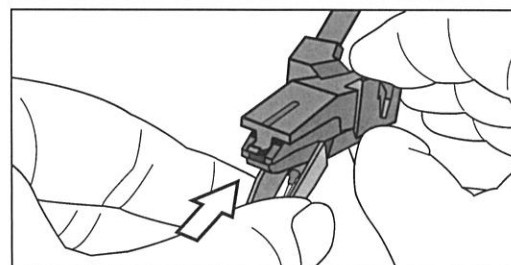
マイナスドライバー



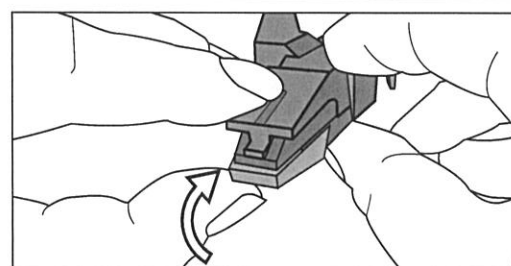
- ② 図のように、両側面を持って、カートリッジを取り外します。



- ③ 新しいカートリッジのカバーを取り外し、図のように後方から差し込みます。



- ④ 前方を上方向に押し込むと、カチッと音がしてカートリッジがはまります。



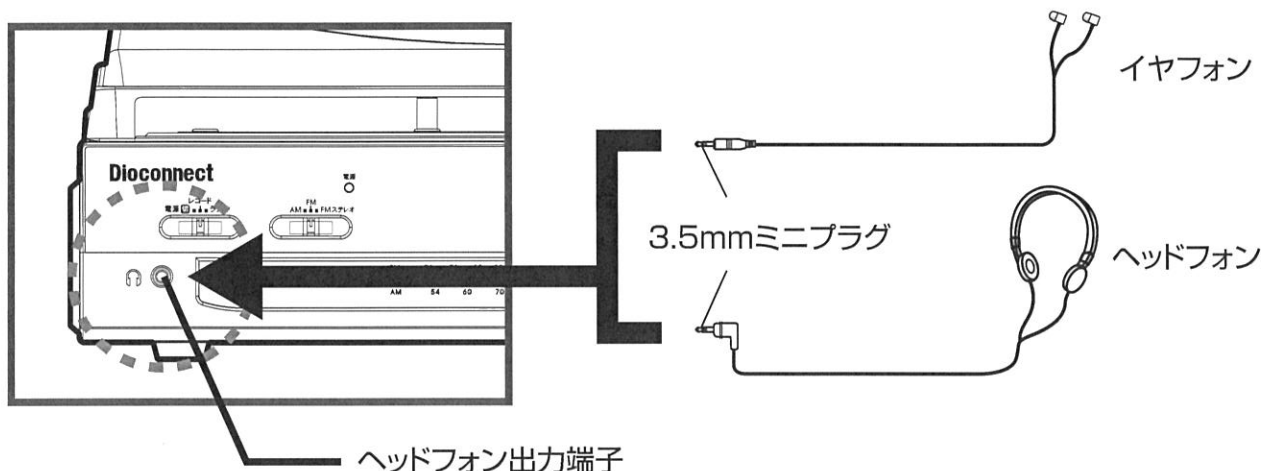
注意

- 本体にレコードをセットした状態では絶対に行わないでください。
- 針部には触らないでください。
- レコード針の使用耐久時間の目安は約500時間です。それ以上使用を続けると、レコードを傷つけてしまう恐れがありますので、ご注意ください。

ヘッドフォン/イヤフォンを接続する

- 本製品の音声をヘッドフォン/イヤフォン(市販品)で聴くことができます。
 - 本体のヘッドフォン出力端子に、市販品のヘッドフォン/イヤフォンを接続します。
ヘッドフォン/イヤフォンを接続すると、本体の音声出力がヘッドフォン/イヤフォン優先になり、スピーカーからは音が出されなくなります。
- ※ヘッドフォン/イヤフォンを接続する際は、事前に音量を下げてから接続を行ってください。

本体正面

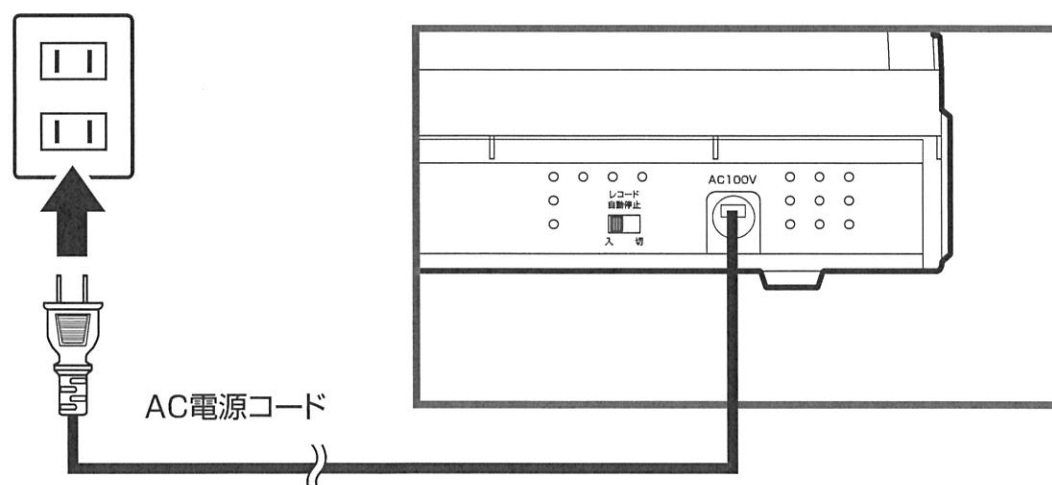


電源コードを接続する

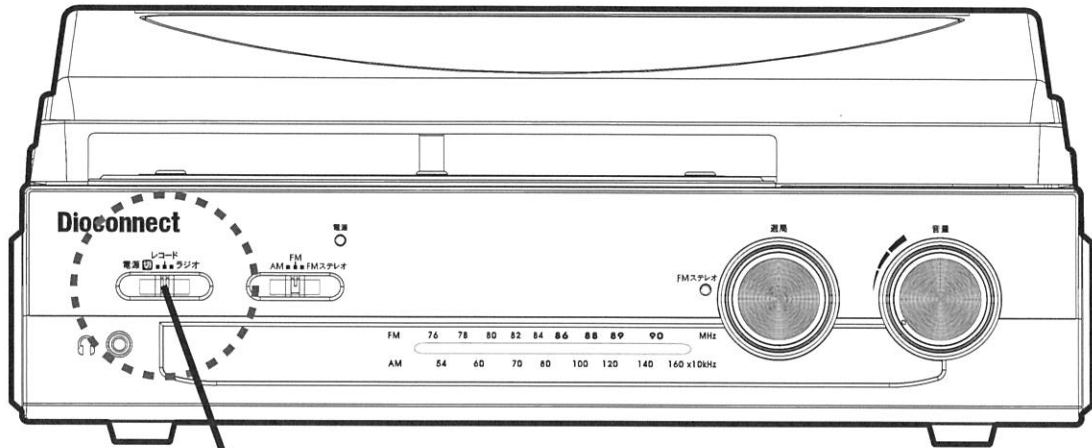
- 本製品の電源をオンにするには、電源コードをコンセントに接続します。

家庭用電源コンセント

本体背面



モードの切り替え/電源オフ



電源/モード切り替えセレクター

モードを切り替える

○本体の「電源/モード切り替えセレクター」を切り替えて、各モードに切り替えることができます。「レコード/ラジオ」モードに切り替えると電源がオンになります。

レコード

●レコードを聴くことができます。

➡ P.15を参照してください。

ラジオ

●FM/AMラジオを聴くことができます。

➡ P.17を参照してください。

電源をオフにする

○本体の「電源/モード切り替えセレクター」を「電源切」に切り替えると電源がオフになります。

レコードを聴く

○本製品はレコードを再生することができます。33回転と45回転の再生速度に対応しています。

●ご使用の際は針を保護しているカートリッジのカバーを取り外してください。(P.12参照)

●本体背面の「レコード自動停止スイッチ」を「入」にしてレコードを再生すると、演奏の終了時にターンテーブルの回転が自動的に停止します。

また、レコードによっては、レコードの停止位置が異なる場合があります。演奏が終了する前にターンテーブルの回転が停止する場合は、「レコード自動停止スイッチ」を「切」にし、演奏終了後、手でトーンアームをアームレストに戻し、ターンテーブルの回転を停止させてください。

レコードモードにする

●本体の「電源/モード切り替えセレクター」を「レコード」に切り替えます。

レコードをセットする

① 本体上面のダストカバーを開けます。

② レコードの演奏スピードに合わせて「レコード回転数切り替えスイッチ」を設定します。

③ レコードのレーベル面を上にした状態でターンテーブルの上にセットします。
EP盤のレコードの場合は、レコードを固定するために付属のディスクスタビライザーをレコードの下にセットします。

LP盤のレコードの場合は、回転を安定させるために付属のディスクスタビライザーをおもりとして使用することもできます。レコードの上に乘せてご使用ください。

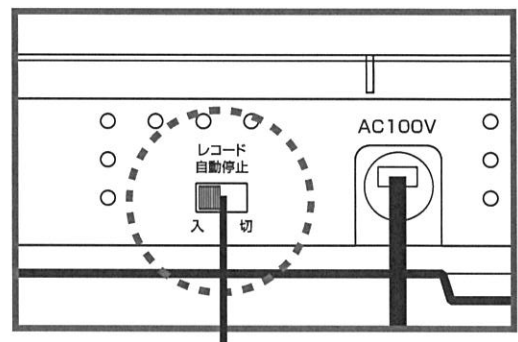
ディスク
スタビライザー



注意

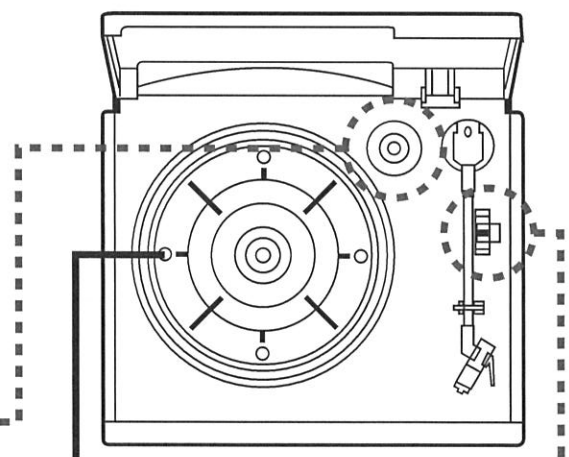
- アームレストにある固定フックを開いた状態でダストカバーを閉めると、フックが破損する恐れがあります。ダストカバーを閉める前に必ずフックを戻した状態にしてください。
- ダストカバーは樹脂製のデリケートなパーツです。開閉時はヒンジ部などが破損しないように、丁寧にお取り扱いください。

本体背面



レコード自動停止スイッチ

本体上面



ターンテーブル

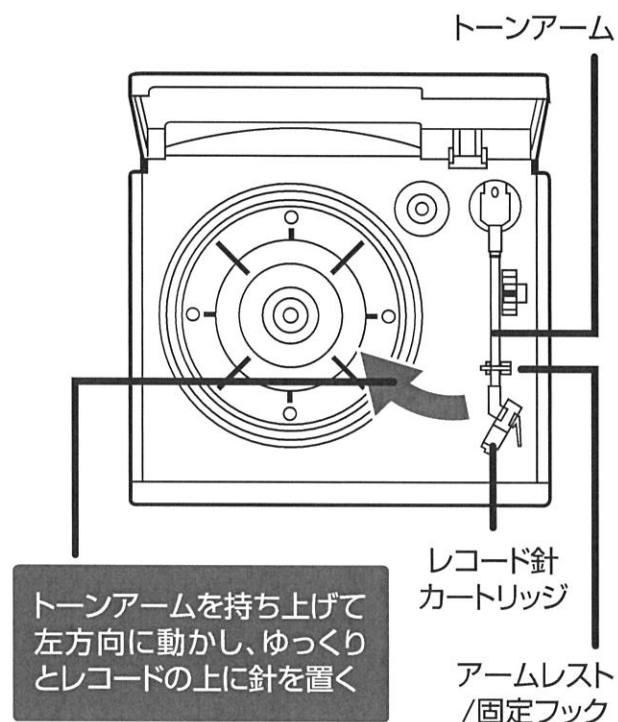
レコード回転数
切り替えスイッチ

レコードを聴く

レコードを再生する

- ① レコード針カートリッジからカバーを外します。
- ② 固定フックを外し、アームレストからトーンアームを取り外します。
- ③ トーンアームを持ち上げ、図の矢印の方向に動かすと、自動的にターンテーブルが回転し始めます。
- ④ レコードの演奏したい位置にトーンアームを移動させ、ゆっくりとトーンアームを降ろし、レコード針をレコードの上に置くと、再生が始まります。
- ⑤ レコードの再生が終わったら、トーンアームを持ち上げ、アームレストに戻し、固定フックで固定してください。
トーンアームを戻すと、ターンテーブルの回転は自動的に停止します。

本体上面



注意

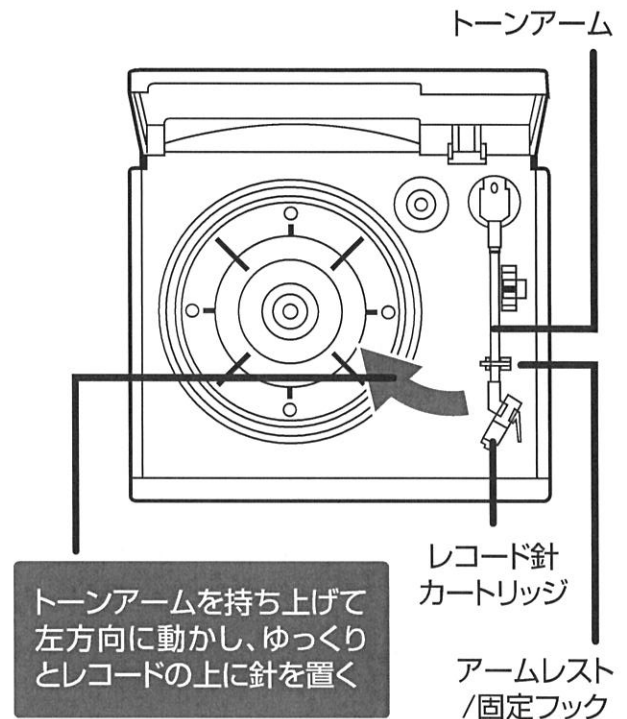
- レコード針カートリッジのカバーをなくさないようにご注意ください。
- レコードの再生時は、ダストカバーを降ろし、レコードにほこりや傷が付かないようにしてください。

レコードを聴く

レコードを再生する

- ① レコード針カートリッジからカバーを外します。
- ② 固定フックを外し、アームレストからトーンアームを取り外します。
- ③ トーンアームを持ち上げ、図の矢印の方向に動かすと、自動的にターンテーブルが回転し始めます。
- ④ レコードの演奏したい位置にトーンアームを移動させ、ゆっくりとトーンアームを降ろし、レコード針をレコードの上に置くと、再生が開始されます。
- ⑤ レコードの再生が終わったら、トーンアームを持ち上げ、アームレストに戻し、固定フックで固定してください。
トーンアームを戻すと、ターンテーブルの回転は自動的に停止します。

本体上面



注意

- レコード針カートリッジのカバーをなくさないようにご注意ください。
- レコードの再生時は、ダストカバーを降ろし、レコードにほこりや傷が付かないようにしてください。
- トーンアームは自動でアームレストに戻りません。演奏が終了したら、手でトーンアームをアームレストに戻してください。

ラジオを聴く

- 本製品はFM/AMラジオを聴くことができます。
- FMラジオのアンテナは本体背面にあります。
FM放送を聴きながらチューナーアンテナの方向を変え、受信感度が良好なところを探し、テープなどで固定してください。
- AMラジオのアンテナは本体に内蔵です。受信感度が良好な場所に本体を設置してください。

ラジオモードにする

- 本体の「電源/モード切り替えセレクター」を「ラジオ」に切り替えます。

FMラジオを聴く

- ① 本体の「ラジオ切り替えスイッチ」を「FMステレオ」に切り替えます。
FMステレオの受信感度が良好だと、本体の「FMステレオランプ」が点灯します。

- ② 本体の「選局インジケーター」のランプを見ながら「選局つまみ」を左右に回し、お好みの周波数に合わせます。

- FMの受信周波数は76.0～90.0MHzです。
- 電波の弱いところや雑音の多いところでFMラジオが受信しにくい場合は、「ラジオ切り替えスイッチ」を「FM」に切り替えてください。FMモノラルに切り替わり、雑音や音切れを軽減することができます。

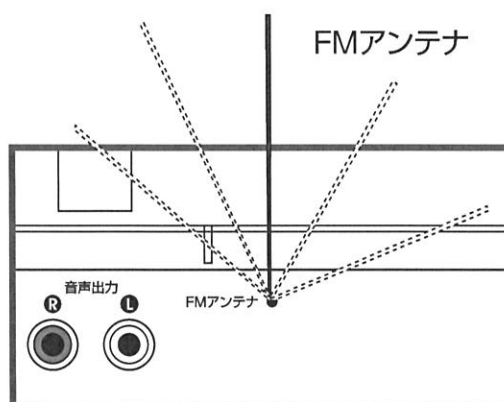
AMラジオを聴く

- ① 本体の「ラジオ切り替えスイッチ」を「AM」に切り替えます。

- ② 本体の「選局インジケーター」のランプを見ながら「選局つまみ」を左右に回し、お好みの周波数に合わせます。

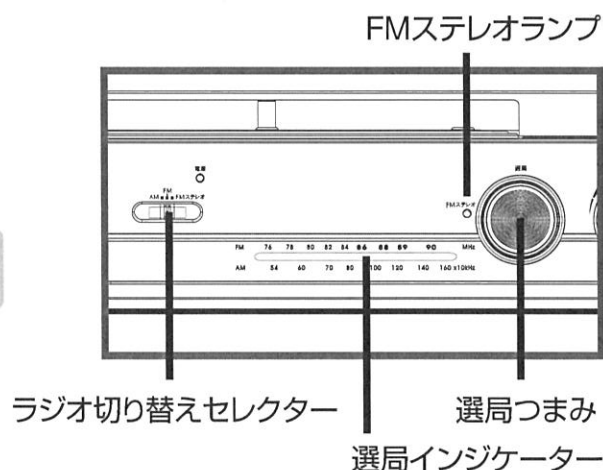
- AMの受信周波数は530～1600kHzです。

本体背面



受信感度が良好なところを探してください。

本体正面



注意

- 受信できる放送局は地域により異なります。

トラブルシューティング

●故障かなと思ったときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ●音量が最小になっていませんか。音量を上げてください。 ●ヘッドフォン/イヤフォンを接続していると、本製品のスピーカーからは音が出ません。ヘッドフォン/イヤフォンが接続されていないか確認してください。
ノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビなどの強い磁気を帯びた機器などの影響を受けている可能性があります。テレビなどの機器と本製品を離して設置してください。
外部機器から音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●外部機器と本体が正しく接続されているか確認してください。 ●外部機器の電源がオンになっているか確認してください。 ●その他、「音声が出ない」の項目を参照してください。
本製品が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●静電気やノイズなどの影響により、本製品が動作しなくなる可能性があります。電源のオン/オフをしてみてください。 ●もしくは、電源プラグを抜いて、もう1度差し込み直してみてください。
レコードの音がおかしい、またはノイズがある	<ul style="list-style-type: none"> ●レコードの回転数が適しているか確認してください。 ●レコード針が摩耗していないか確認してください。 ●レコード針の針先にほこりがたまっていないか確認してください。 ●ハウリングのような音がする場合、本体の設置の仕方、部屋の状態により発生している可能性があります。本体の設置位置や音量を調整してみてください。
レコードの再生中に針飛びを起こす	<ul style="list-style-type: none"> ●床の振動が本体に伝わっていないか確認してください。 ●レコードの溝に傷がついていないか確認してください。 ●本体が水平に設置されているか確認してください。 ●レコードが反っていないか確認してください。
レコードの再生中にターンテーブルの回転が途中で止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●本体背面の「レコード自動停止スイッチ」が「入」になっている可能性があります。「切」にスイッチを切り替えてレコードの再生をしてみてください。 ●一般的なレコードよりも演奏時間が長いレコードの可能性があります。「切」にスイッチを切り替えてレコードの再生をしてみてください。「レコード自動停止スイッチ」を「切」にした場合は、レコードの再生が終わった後、手動でトーンアームをアームレストに戻してください。
FM/AMラジオが聴けない。もしくはノイズが多い	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの位置を調整してみてください。 ●コンクリートの壁などで電波が遮断されているとラジオを受信しにくくなります。 ●「FMステレオ」から「FM(モノラル)」に切り替えてみてください。 ●近くに自動車が行き交っていたり、飛行機が飛行していると雑音が入ることがあります。 ●テレビやパソコンなどの機器から離して設置してください。

主な仕様

レコード駆動方式	ベルトドライブ式
レコード回転数	33回転/45回転
レコードカートリッジ	ルビー針タイプ
ラジオ受信方式	アナログチューニング方式
ラジオ受信周波数帯	AM : 540~1600KHz FM : 76.0~90MHz
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	14W
実用最大出力	3W (1.5W+1.5W)
出力端子	本体正面 : ヘッドフォン端子(3.5mmミニジャック) 本体背面 : 音声出力端子(RCAピンプラグ)
寸法	(W)約305mm × (D)約288mm × (H)約126mm
重量	約2.3kg
使用環境	温度 : 10~35℃ 湿度 : 55~75% (結露なきこと)

■本製品の仕様は都合により記載内容を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

アフターサービスと保証書

保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理
保証書の規定により、無料で修理致します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)の修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理致します。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。